

総務省主催第62回全国統計大会 & 第60回『統計グラフ全国コンクール』表彰式



758席の会場は立ち見も出る超満員、全国から800名を超える参加者を数える大盛況な行事



主催者の総務省挨拶
田中順一 総務省総務審議官



統計情報研究開発センター
小玉 正任 会長 挨拶



受賞者を代表して謝辞を述べる
《大内賞》受賞の北川源四郎氏



各表彰を授与する皆さん



受賞者の皆さん

平成24年11月16日（金）午後1時半から国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟大ホールで、総務省と統計情報研究開発センター主催《第62回全国統計大会》が開催されました。

各省大臣表彰はじめ《第60回統計グラフ全国コンクール》の入賞作品表彰、《日本統計学会会長賞》や《日本品質管理学会賞》の表彰、《大内賞》表彰と副賞授与等が行われました。

主催者挨拶、祝辞の後、総務大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣など各省大臣表彰があり、続いて《第60回統計グラフ全国コンクール》応募数23,879件の中から入賞作品表彰、《大内賞》表彰が行われました。

最後に「地域社会の活性化と統計の役割」をテーマに《第33回統計シンポジウム》が行われ、午後5時、行事は終了しました。

《第62回全国統計大会》



総務省主催《第62回全国統計大会》では全国の統計に係わる皆さんを表彰しました。



各種統計に係わる活動を展開、表彰された皆さんと統計グラフコンクールの表彰対象の皆さん



各種表彰を受ける皆さん

《全国統計大会》は国や地方公共団体、関係団体などの統計関係者が一堂に会し、統計及び統計制度の進歩発展、統計の普及啓発、相互交流と研鑽を行うことを目的に開催するもので今年62回目の行事です。

“統計”は私たちが生活する中で欠くことのできないものですが「国勢調査」などの時期以外、必ずしも関心が高いとは言えませんが、ビッグデータの時代に入り、統計データの重要性が理解され、幅広い分野で統計への関心が高まっています。

《第62回全国統計大会》の前半は、全国各地で総務省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省などの統計データの収集・調査に係わる皆さんに対する各省《大臣表彰》が行われました。

後半は《第60回統計グラフ全国コンクール》の応募作品の中から入賞した皆さんへの表彰、我が国の統計の父と言われる大内兵衛博士を記念する《大内賞》の授与が行われました。

《第62回全国統計大会》



《総務大臣賞》

総務省の田中順一総務審議官が表彰状を授与。



《厚生労働大臣賞》

厚生労働省の伊澤章統計情報部長が表彰状を授与。



《農林水産大臣賞》

農林水産省の齊藤昭統計部長が表彰状を授与。



《総務大臣表彰》は、「労働力調査」、「小売物価統計調査」、「家計調査」、「個人企業経済調査」、「国勢調査」等各種統計調査に貢献した3千名余りの調査員に対して贈られるもので、富山県の釜本靖子さん、和歌山県の寺崎鈴子さんが全国の受賞者を代表して表彰状を受け取りました。

続いて行われた《厚生労働大臣表彰》は、厚生統計関係で個人表彰と団体表彰があり、個人表彰では都道府県職員・市町村職員表彰、統計調査員、団体などが、また労働統計では個人表彰の部で都道府県職員表彰、統計調査員表彰、団体表彰等100名、事業所が調査対象414事業所を表彰、代表として鳥取県の統計調査員をしている松原賢二さんが伊澤統計情報部長より表彰状を受け取りました。

《農林水産大臣表彰》では、「農林水産統計調査」に永年貢献した調査員と特別協力者927名が受賞しました。

受賞者を代表して熊本県の横田勇さんが表彰状を受け取りました。

《第62回全国統計大会》



《経済産業大臣賞》

経済産業省の喜多見淳一調査統計審議官が表彰状授与。



《経済産業大臣表彰》は、「構造統計」と「動態統計」に関する調査に貢献した調査員210名が表彰対象となり、代表として宮城県の高塚雅文さんが表彰状を受け取りました。



《国土交通大臣賞》

国土交通省の濱勝俊情報政策本部長が表彰状を授与。

最後に《国土交通大臣表彰》は、「建設統計調査」についての表彰が行われ、調査対象事業所表彰では83事業所が、統計調査員表彰では3名、地方公共団体職員表彰で5名が受賞しました。

代表として鈴木建設の鈴木清治社長が表彰状を受け取りました。

以上が《各省大臣表彰》の模様です。



大臣表彰を受けられた皆さん（前列）

《第60回統計グラフ全国コンクール》表彰風景



《総務大臣特別賞》



《文部科学大臣奨励賞》

西澤立志調査企画課長が《文部科学大臣奨励賞》を授与。

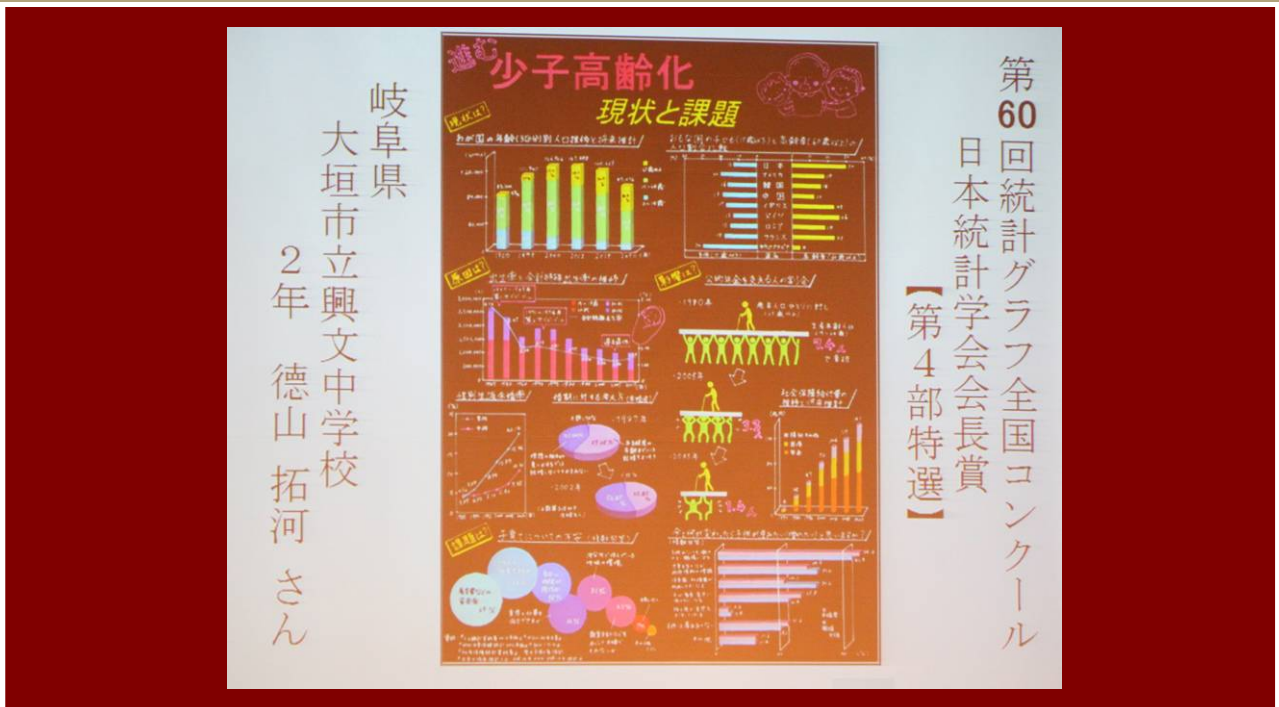
《第60回統計グラフ全国コンクール》には全国から23,879件の応募がありましたが、その中から優秀作品が選ばれ、表彰が行われました。

《総務大臣特別賞》は神奈川県相模原市立谷口台小学校6年の新江春佳さんが作成した「大人になるということは？～18歳成人を考える～」が選ばれ、田中順一総務審議官から表彰状を授与されました。

《文部科学大臣奨励賞》には、茨城県五霞町立五霞東小学校の2年生、大関菜月さん、成田藍さん、鳩貝優奈さんが取組んだ「がんばったね！やさいづくり」が選ばれました。

表彰状を受けとる3人は緊張しながらも、一人ひとりが堂々と表彰状を受けとり、会場からたくさんの拍手を受けました。

《第60回統計グラフ全国コンクール》表彰風景



《日本統計学会会長賞》

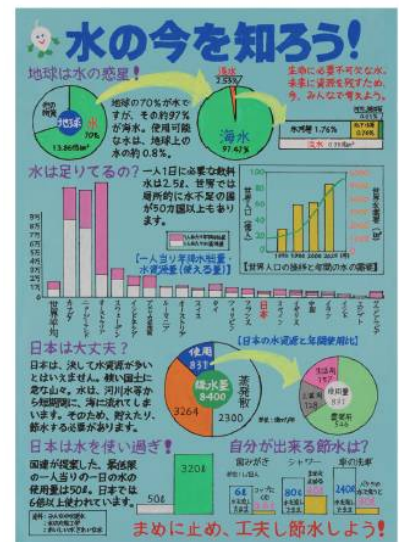
竹村彰通・日本統計学会会長が徳山拓河さんに授与。

昨年創設された《日本統計学会会長賞》には岐阜県大垣市立興文中学校2年の徳山拓河さんの「少子高齢化/現状と課題」が表彰状と副賞が授与されました。

同じく昨年創設された《日本品質管理学会賞》は東京大学教育学部附属中等教育学校1年の山川哲哉さんの「水の今を知ろう」が選ばれ、表彰状と副賞を授与されました。



《日本品質管理学会賞》

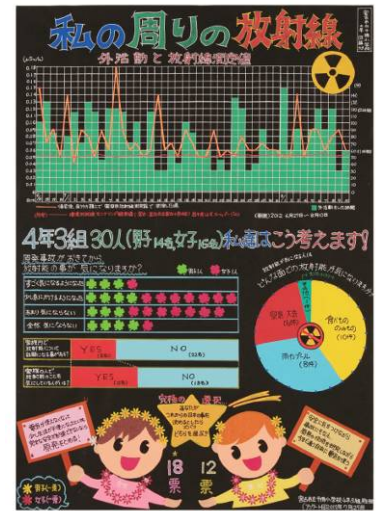


《第60回統計グラフ全国コンクール》表彰風景



《統計情報研究開発センター会長賞》

小玉会長から、第2部特選の表彰状を授与される岩手県宮古市千徳小学校4年の佐藤旭さん。

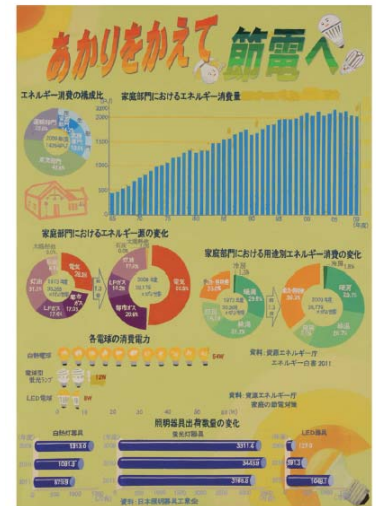


佐藤旭さんの「私の周りの放射能」のポスター。



《統計情報研究開発センター会長賞》

第5部高校生以上一般の部の特選の坂元ゆみさん。



一般の特選の「あかりをかえて節電へ」のポスター。



《統計情報研究開発センター会長賞》

パソコンの部は鹿児島県立霧島高等学校の新町晃大さん、福吉幸介さん、重信康生さん、新地裕生さん、山之上雅弘さん。



パソコン部門の特選「統計学を利用した商品開発」の作品。PCクラブを代表して新町晃大さんが小玉会長から表彰状を受取りました。

《第62回全国統計大会》…《大内賞》表彰風景



《大内賞》を授与される
大学情報・システム研究機構長の北川源四郎氏

最後に日本の統計の父と呼ばれる大内兵衛博士を記念した《大内賞》の授与が行われました。

長年にわたり優れた研究に基づく著書・論文により、統計実務の進歩に直接貢献した大学共同利用機関法人情報・システム研究機構長の北川源四郎氏、統計実務に長年従事し、統計の進歩に貢献した警察大学校教授の鈴木定光氏、千葉県統計調査員の田所喜美子氏、青森県の西村昇氏の4名に授与されました。



受賞者の皆さんが起立する中、受賞者を代表して、北川源四郎氏が謝辞を述べました

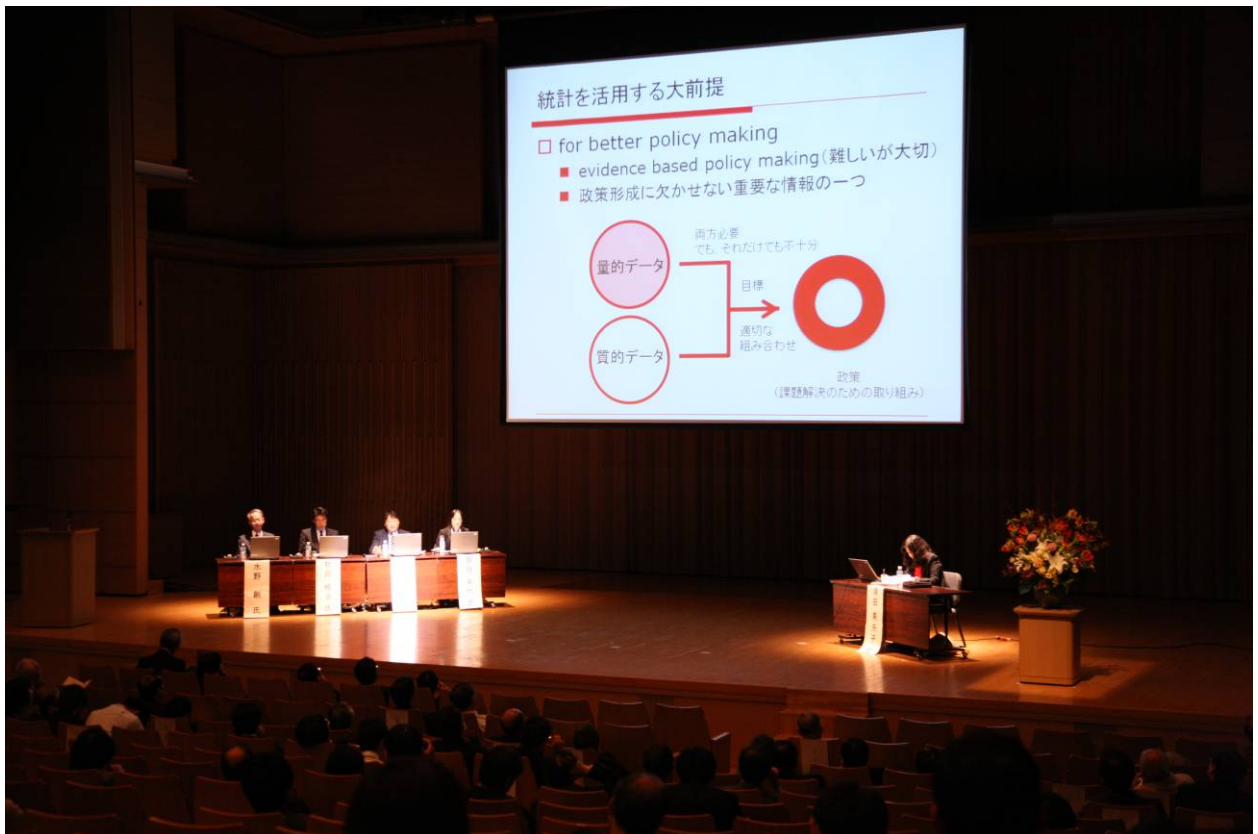


《大内賞》を受賞された皆さん



謝辞を述べる北川源四郎氏

《第33回シンポジウム》



「地域社会の活性化と統計の役割」をテーマに行われたパネルディスカッション



パネルディスカッションに先立ち、(株)ちばぎん総合研究所社長の水野創氏が基調講演を行い、終了後、甲南大学特別客員教授の須田美矢子氏を座長に、三重大学教授の朝日幸代氏、兵庫県立大学教授の畑正夫氏、徳島県政策創造部統計調査課企画幹の牧田修治氏、「地域社会の活性化と統計の役割」をテーマにディスカッションを繰り広げました。

《第60回統計グラフ全国コンクール》パネルコーナー



会場前のホールには応募作品の中の入賞作品など多数が展示されました



《総務大臣特別賞》を受賞した神奈川県相模原市立谷口台小学校6年、新江春佳さんのポスター。



《文部科学大臣奨励賞》を受賞した茨城県五霞町立五霞東小学校2年、大関菜月さん、成田藍さん、鳩貝優奈さんの作品。